

生涯教育って何だろう？

最近、生涯教育という言葉がよく使われています。黒崎町でも昭和六十年から、県の生涯教育推進モデル事業の指定を受け、生涯教育の推進に取り組んできました。生涯教育とはどういうことか、町では何をしているかを、今回の特集でお知らせします。

一生学ぶ、一生教育する

生涯教育とは、読んで字のごとく、人の一生にわたって教育をするということ。これまで教育というと、だいたい七歳から二十五歳までの青少年期に学校で集中的に行われるものと一般に考えられていました。確かに青少年期は重要なことを学ぶのにいい時期です。しかし、人間は一生にわたって学んでいくし、これからは学んでいかなければなりません。

生涯教育の背景

特に、最近では科学・技術の進歩がめざましく、学校で若い時に学んだ知識だけでは、社会に出てから十分な役には立ちません。たとえば、現在、さまざまな職場でO A化が進行していますが、こうした動きについていけない人も出てきています。

また、所得水準の向上、労働時間の短縮、寿命の延長などのおかげで、経済的・時間的なゆとりが増えてきました。こうしたゆとりを生かし、充実したものとするのに、文化的なものに触れたいという要求が増大しつつあります。

学校以外の教育の場

それでは、生涯教育といったものの特質にはどんなことがあるのでしょうか。

まず、最初の方でも述べたように「七歳から二十五歳までに集中しておこなわれるのではなく、一人ひとりがその全生涯にわたって組織的・目的な学習がなされるよう配慮」されるということ。

次に、教育は学校だけでなく、すべての生活の場で行われるものであるということ。公民館などの社会教育施設や博物館、美術館はもちろん、家庭、地域、職場などでも教育が行われなければならぬし、現に行われています。つまり、教育を生活に結びつけなくてはならないということです。

町ではこのようにしている

では、「生涯教育」をどう進めようとしているのでしょうか。昭和六十年から三年間、町は県の生涯教育モデル事業の指定を受け、さまざまな取り組みを行いました。これは、今後の町の生涯教育の方向づけを行い、さらに、生涯教育の推進を通じて地域の活性化を図ることが目的でした。

構想・計画を立てる

まず①については、生涯教育促進会議の設置 ②学習情報提供システムの確立 ③地域活性化学習活動事業。

学習情報の提供

次に②については、社会教育テレホン、社会教育情報紙の発行などを実施し、学習情報の提供に努めてきました。

横のつながりを強化

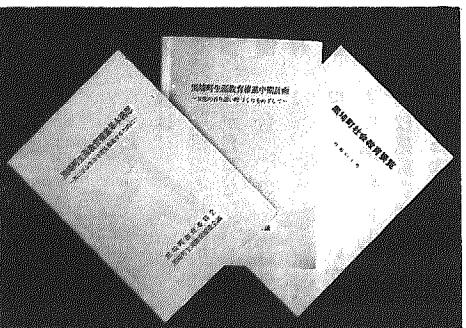
③については六十年から「絵本とおはなしの講座」と「くらしと健康を考える町民講座」を実施してきました。これは住民福祉課、保健衛生課など役場の中で生涯教育と関係のあるところと手を組んで事業を行い、横のつながりを強めました。

理論づけから実践へ

県の生涯教育モデル事業は六十二年で指定が終了しました。今後は「基本構想」「中期計画」にそって、毎年、具体的な計画を立て、実施していきます。



三世代交流会
「健康な町づくり町民講座」の一環として昭和60年度から毎年行われている。「健康な町づくり町民講座」は生涯教育推進モデル事業の一環として開講されてきた。今年、町独自で秋に開講される予定。



*「生涯教育推進基本構想」「生涯教育推進中期計画」「社会教育要覧」は、町立図書館、北部地区公民館に置いてあり、だれでも見ることが出来る。

*生涯教育推進員：公民館長、各地域の分館長二十一人(全員) 社会体育指導員十三人の計三十五人からなる。

*社会教育テレホン：家庭にしながら学習情報が手に入られる。内容は月二回変わる。☎33330

*社会教育情報紙：昨年度は三回発行 A三判四一六ページ。広報くろさきと同じルートで町内全戸に配布。